

第 14 回学都仙台コンソーシアム定期総会議事録（要旨）

1. 日 時：平成 25 年 2 月 21 日（木）午前 10 時～午前 11 時 30 分
2. 場 所：仙台国際ホテル 平成の間（仙台市青葉区中央 4-6-1）
3. 出席者：27 会員機関（出席者の役職・氏名は<別紙>資料のとおり）
尚綱学院大学、聖和学園短期大学、仙台白百合女子大学、仙台青葉学院短期大学、仙台大学、東北学院大学、東北芸術工科大学、東北工業大学、東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部、東北大学、東北文化学園大学、東北薬科大学、放送大学宮城学習センター、宮城学院女子大学、宮城教育大学、宮城誠真短期大学、宮城大学、仙台高等専門学校、公益財団法人仙台観光コンベンション協会、一般財団法人東北多文化アカデミー、独立行政法人理化学研究所、宮城県、仙台市
（委任状）石巻専修大学、東北福祉大学、仙台商工会議所、
欠席者：社団法人みやぎ工業会
4. 定足数の確認
事務局長から、本会規約により、本総会は成立する旨の報告があった。
5. 議長選出
慣例により、西垣会長を議長に指名した。
6. 議事録署名人の選出
西垣議長から、議事に先立ち、本コンソーシアム規約に基づく、議事録署名人の選出について諮った結果、議長に一任することとし、根岸東北芸術工科大学長と土屋東北文化学園大学長を選出した。
7. 議事
 - 1) 第 1 号議案 平成 25 年度事業計画（案）について
各事業部会長から、配付資料に基づき、平成 25 年度事業計画（案）について説明がなされ、審議の結果、承認された。
なお、企画部会 F D・S D 事業の強化の要請と、単位互換部会長に対して、同部会の事業について仙台学長会議に提言する具体的な検討議案のとりまとめの要請があった。
 - 2) 第 2 号議案 平成 25 年度収支予算（案）について
事務局長から、配付資料に基づき、平成 25 年度の収支予算（案）について説明がなされ、審議の結果、承認された。
なお、企画部会及び単位互換部会の検討に要する経費が予算に収まらない場

合には、原則、予備費で対応することとされた。

3) 第3号議案 役員の選任について

事務局長から、配付資料に基づき、役員の選任について説明がなされ、審議の結果、承認された。

4) 第4号議案 各事業部会長について

事務局長から、配付資料に基づき、各事業部会長について説明がなされ、審議の結果、承認された。

5) 第5号議案 学都仙台コンソーシアム自己評価改善状況について

事務局長から、配付資料に基づき、学都仙台コンソーシアム自己評価改善状況について説明がなされ、承認された。

なお、企画部会の未実施事業の「要検討事業」について、部会長に検討を要請された。

6) 第6号議案 復興大学について

復興大学事業代表校沢田東北工業大学長から、配付資料に基づき、復興大学事業について報告がなされた。

7) 第7号議案 その他

- ①東北学院大学 星宮学長と東北工業大学 沢田学長からそれぞれ退任の挨拶があり、西垣議長からも、感謝と労いの挨拶があった。
なお、コンソーシアムに両氏が引き続き関わっていただくため、規約改正を含め、その方策を検討するよう、事務局長に要請された。
- ②東北大学の里見総長から、東北大学主催の「災害復興新生研究機構シンポジウム(3/9開催)」について、参加依頼があった。
- ③東北学院大学の星宮学長から、仮設住宅に入居している科目等履修生の受講料を免除している旨の報告があった。
- ④尚絅学院大学の佐々木学長から、一般市民が複数の大学で科目等履修生として取得した単位を積み上げてコンソーシアムが認めるような制度を検討したらどうかと発言があった。
- ⑤事務局長から、次回定期総会開催について、6月を予定している旨の説明があった。

以上